

大月市賑わいづくり社会実験 実施計画書（案）

事業の名称	B-2 街なか魅力発見事業(回遊性創出事業)
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民及び登山客・ハイキング客(年間 20 万人)を商店街(街なか)に誘導するために、街なかの埋もれた資源(商品・商店・観光スポット)を掘り起こし、来街者の満足度を向上させる。また、既設観光スポットとの連携も図る。 ● 商店街と観光スポットの関連性・融合性を高める街づくりとする。 ● 賑わいづくりのコンセプトの一つとして、大きなツキを呼ぶ街“大月”(ラッキーシティ大月)を告知していく。
事業責任者	小俣 孝
対 象	来街者 (①登山・ハイキング客、②観光客、③市民)
期 間	平成 23 年 8~10 月
実施場所	大月駅前及び周辺商店街
事業の意義	街なかの埋もれた商品・商店や新しい観光スポットを紹介することは、来街者や市民に対するサービスの向上を図れるとともに、まちの魅力を広く伝える事が出来る。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 埋もれた資源の掘り起こしと新商品の開発 <ol style="list-style-type: none"> ① 話題のメニューや埋もれている大月商品・商店を掘起す。 ② 大月の見どころや、史跡、富士山ビューポイントの調査を行う。 ③ “大月”にちなんだ商品の開発・制作を行う。 2. かくれた見どころの発掘と大月神社めぐり <ol style="list-style-type: none"> ① 古文書に出てくる「菊花山清水場」を調査し、歴史的見どころとして整備、PRする。大月駅から 5 分ほどの近い距離にあり「大きなツキをもたらす」というストーリーと併せて説明し、来街者に喜びを与える。 ② 大月の地名発祥の地である三嶋神社をはじめ、大月の街なかには神社が 5 社あり、多くは櫨の大木に覆われている。パワースポットとしてラッキーシティのこれらの神社を紹介し、神社めぐりによって大きなツキがあることをPRする。 3. 商店街と観光スポットとの関連付け <p>商店街と観光スポットとの関連付けを検討し、観光スポットと連携された商店街を目指す。商店街の散策ルートと観光スポットを組み合わせたルートを検討し、それぞれのルートの楽しみ方、見どころ等を紹介する。</p> 4. 街なか散策マップの作成。

	<ul style="list-style-type: none"> ① 観光客や駅利用の市民が、新しくなった駅前に滞留するだけでなく、既存商店街や新しい観光スポットを回れるように何とおりのルートを設定、表示する。 ② 街なか散策マップには、来街者に満足を得られるような商品、大月のみやげ、ユニークな店も掲載する。 ③ 出来上がったマップを市内商店や書店で配布または販売する。 ④ マップには、案内板や誘導標識の位置表示も検討する。 <p>5. 案内板・誘導標識の設置</p> <p>マップの製作とともに来街者が目的地に行きやすくするために案内板や誘導標識設置の検討を行う。</p> <p>6. 調査隊ミステリーショッパー(モニター)による満足度調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市内外よりミステリーショッパーを公募(100名程度)し、マップ中の観光スポットや購入商品の評価を実施(アンケート調査又はインターネットへの書き込み)する。 ② 調査結果を整理・分析し、必要に応じマップの変更と商品の見直し情報として活用する。
<p>準備作業の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 事業の確認 <p>実施する事業内容、日時、参加の条件、用具の準備等の確認と作業担当者を決定する。</p> 2. 大月商店街協同組合加盟店への新商品開発の要請 <p>加盟店へ“大月”にちなんだ商品の開発・制作を要請する。</p> 3. 大月商店街の埋もれた商品や商店の掘り起こし <p>街なかに埋もれている商品の掘り起こし、開発された“大月商品”やユニークな店を調査し、マップで紹介する資料としてまとめる。</p> 4. パワースポット調査 <p>「菊花山清水場」や大月の街なかにある神社を調査し、パワースポットとしての魅力を発掘する。調査資料は原稿としてまとめ、看板やマップ作成の資料とする。併せて既設の観光スポットやビューポイントの調査も実施する。</p> 5. ミステリーショッパーの公募 <p>観光スポットや購入商品の評価を実施するためにミステリーショッパーを市広報やHPにて公募する。準備作業としては公募条件を整理する。</p> 6. 案内板・誘導標識 <p>パワースポットとして認めた施設にはその魅力を伝えるために、案内板を設置する。併せて、パワースポット等への道案内板用の誘導板の設置を行うため、案内板等作成のための原稿を作成する。</p> 7. 用具の手配

	<p>のぼり旗等の手配を行う。</p> <p>8. 広報活動 事業の実施をいかにして知らせるかが事業の成功を左右する。広報の道具として市広報や市・観光協会のHPを活用するため、事前に周知内容を示した原稿を作成する。また、専用ホームページの立ち上げ等も検討する。</p> <p>9. 街なか散策マップの作成 マップは全事業共通の地図を用意し、事業内容に応じたマップ原稿の作成を行う。準備作業としてマップに掲載する情報の収集や内容の検討を行う。作成に当たってはA-1 駅前夕市事業、A-2 おおつきコンシェルジュ事業、B-1 おもてなしストリート事業間での連携・調整を行う。</p> <p>10. アンケート調査 アンケート調査を実施するための要員の確保と、調査実施時の留意事項等の説明を行う。 ※スケジュールは工程表を参照。</p>
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 街なか散策マップの作成 2. 目玉となる、観光スポットの発掘と新商品開発を実現する。 3. 市内外者による、ミステリーショッパー(モニター)を100人組織化し、来街者の満足度を調査し、来街者のリピート率の向上を図る。
評価項目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商店街(個店)の売上・集客数。 2. 観光客の満足度(観光スポット、購入商品、接客態度等) 3. ミステリーショッパー、ネットへの書込み評価(満足度、クレーム件数)
作成資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大月商品参加募集要項 2. 案内板・誘導標識用原稿 3. マップ作成用原稿 4. ミステリーショッパー募集要項原稿 5. 広報用原稿